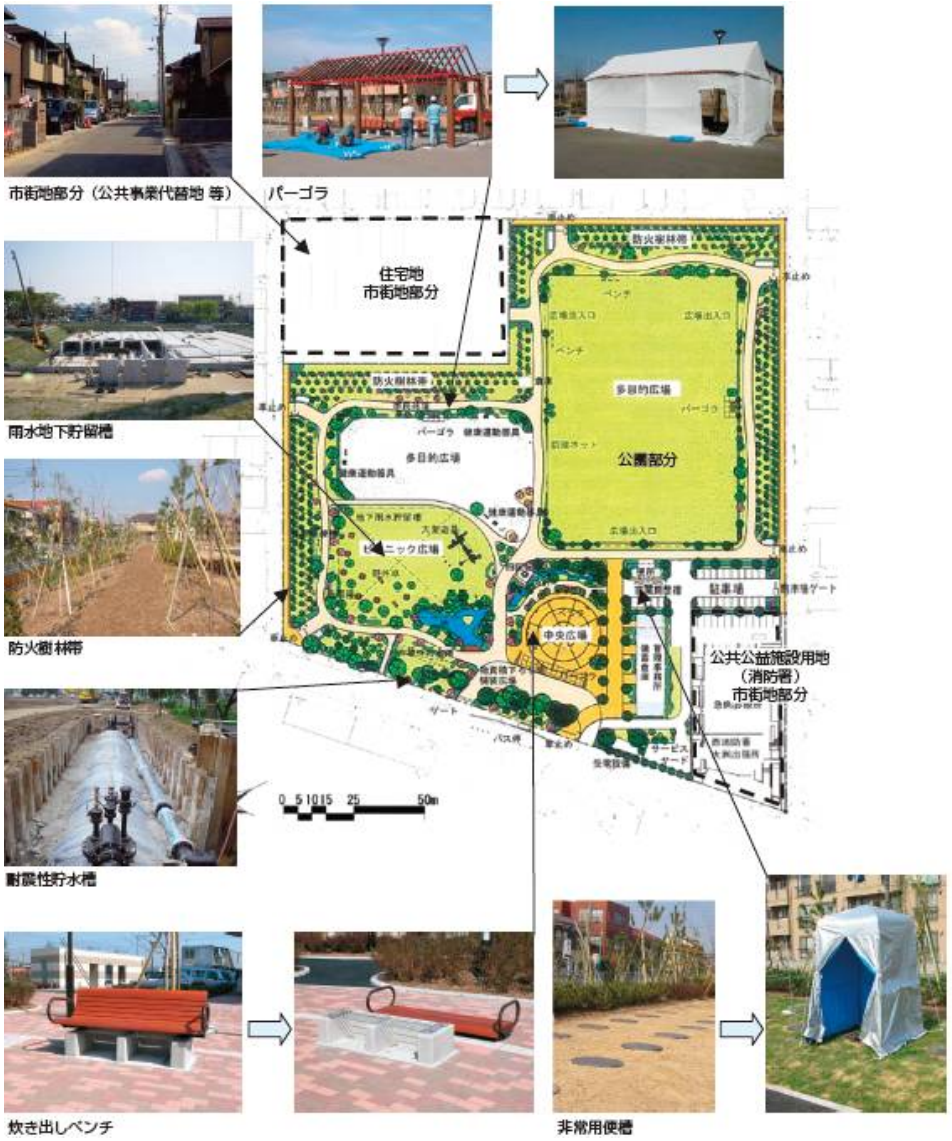
URが施行する
防災まちづくり

防災公園街区整備事業

防災公園街区整備事業とは

街に、ルネッサンス
UR都市機構

市街地と防災公園整備を一体的に推進するまちづくり。

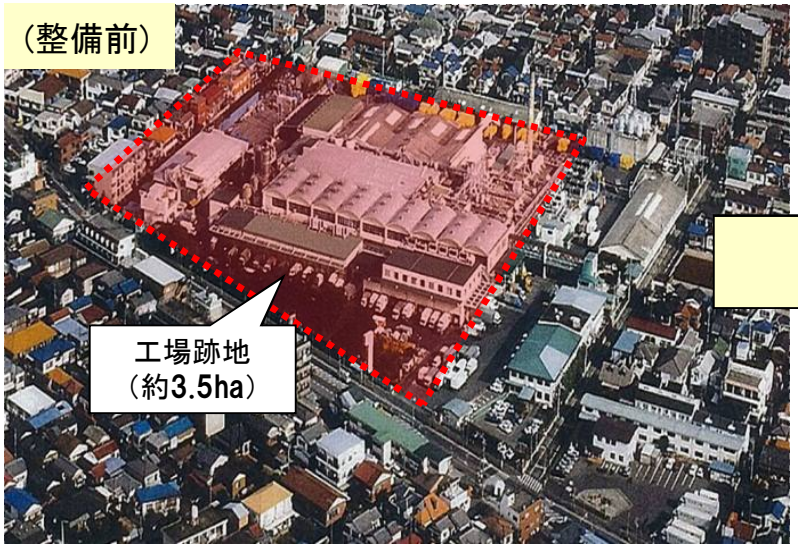


防災公園街区整備事業の概要

地震災害等に対し脆弱な構造となっている都市の既成市街地において、
①地方公共団体からの要請に基づき、
②都市機構が、工場跡地等の大規模低未利用地を機動的に取得
③避難地や防災活動拠点となる防災公園と周辺市街地の整備改善を一体的に実施することにより、都市の構造的な防災機能の強化を図る。

【事例：市川市大洲一丁目地区】

URが事業用用地を一括取得



〔耐震性貯水槽〕
災害時に飲料水を供給する（100t対応）

〔非常用便所〕
便槽を埋設し、非常時に便所として利用

〔防火樹林帯〕
火災延焼の防止、輻射熱遮断のための植栽

〔備蓄倉庫・管理事務所〕
災害時に必要な資材を収納

防災公園の整備

都市の防災機能の向上により、安全で安心できる都市づくりを図るため、地震災害時に

●復旧・復興拠点や復旧のための生活物資等の中継基地等となる**防災拠点**、

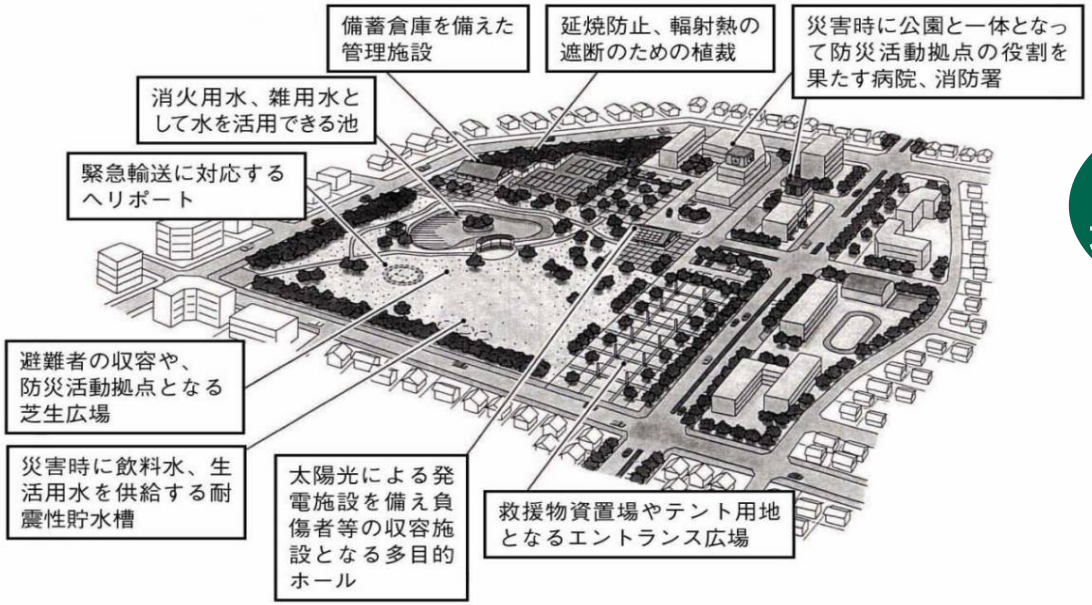
●周辺地区からの避難者や帰宅困難者を収容し、市街地火災等から避難者の生命を保護する**避難地**　等

として機能する、地域防災計画等に位置付けられた都市公園を整備すること

URが公園管理者（地方公共団体）になりかわり直接補助事業を実施

計画・設計・施工 URが一貫実施

補助申請等 事務手続きはUR



補助予算は 地方公共団体とは別枠

補助裏の負担は 起債が可能

地方公共団体の抱える課題を解消

事例【三鷹市民センター周辺地区】東京都三鷹市

街に、ルネッサンス　UR都市機構

老朽化した公共施設の再編・集約と都市の防災機能向上を図る。

三鷹市民センター周辺地区

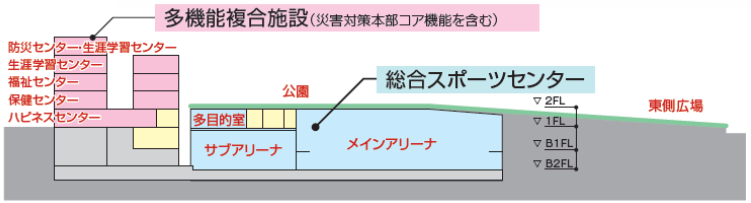
地方公共団体の複数施策の同時一体的な実現

- 立地を活かした防災公園の整備
  - ➔一時避難場所に指定されていた青果市場の移転に伴い、その機能を継続するとともに、市役所や緊急輸送道との結節点に隣接する当該地の特性を活かして防災公園を整備
- 老朽化した公共施設の機能更新
  - ➔地区周辺に位置する老朽化した複数の公共施設について、機能を維持しながら多機能複合施設等に再編し、機能を更新
  - ➔災害時には、多機能複合施設内に設置される災害対策本部と防災公園が一体となって防災拠点を形成

所在地	東京都三鷹市	施行面積	約2.0ha
事業期間	平成22年度～平成28年度		

URの防災公園街区整備事業を活用して、防災公園の整備と公共施設の機能更新・再編を一体的に実現

※ 現時点におけるイメージであり、今後の検討により変更される場合があります。



公園部分	総合スポーツセンター（アリーナ、プール、武道場　他） 構造／階数：RC造／地上1階・地下2階、延床面積：約13,700㎡
市街地部分	多機能複合施設（保健センター、生涯学習センター　他） 構造／階数：RC造／地上5階・地下2階、延床面積：約9,600㎡

地域に根ざした安全・安心まちづくり～歴史・健康・子育て～

事例【鈴鹿市南玉垣・白子地区】三重県（桜の森公園）

公募により親しみのある公園名が決定

既存樹ソメイヨシノを残した広場

←海軍基地時代
の
名残ある桜並木

地元の思い出残す
戦争遺構
（番兵塔、記念碑）
→

桜の名所で刻まれた歴史を継承し、整備された公園名は「桜の森公園」に。

健康をテーマにまちづくり・公園内コースと街区コース

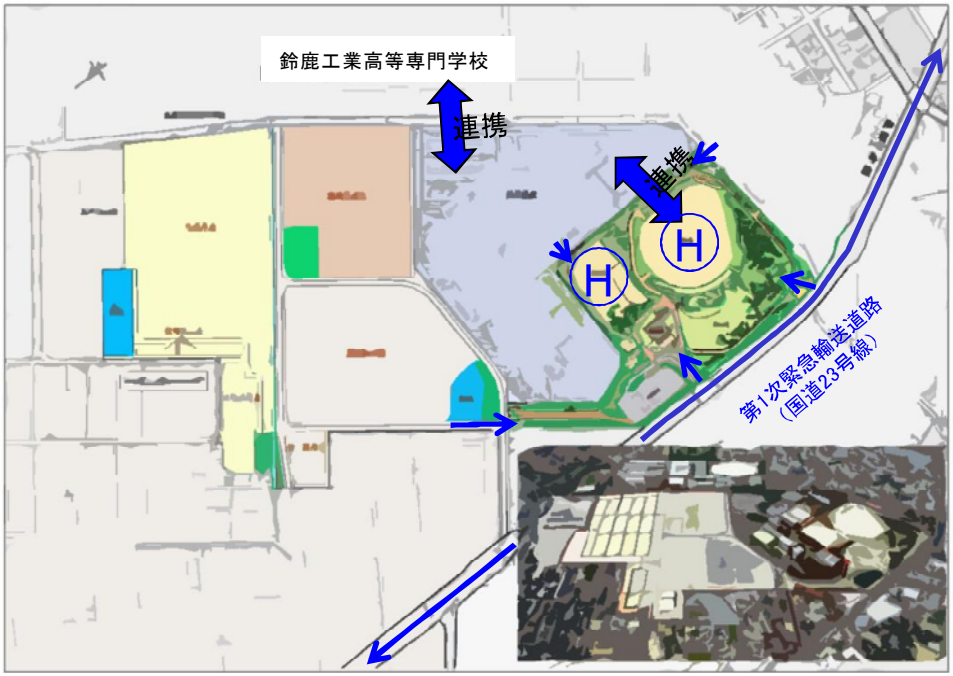
←健康遊具
を備えた
公園

↑隣接の鈴鹿医療科学大学の研究にも
（中日新聞　10.2）

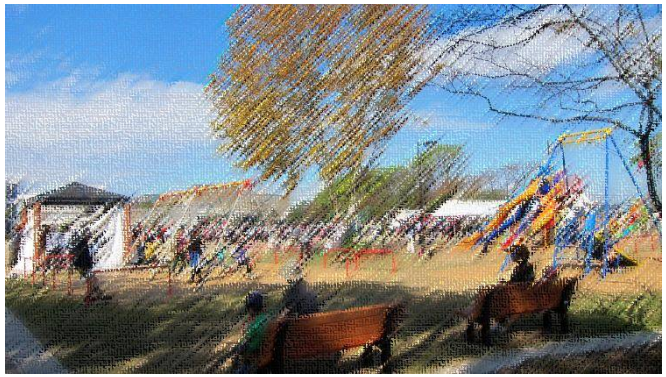
事例【鈴鹿市南玉垣・白子地区】三重県（桜の森公園）

災害時は、周辺市街地と連携して、普段より市民に周知された広域避難場所として防災機能を発揮。

子育て中の市民が集まるワークショップ



ママの意見を取り入れた「ちびっこ広場」



いつもの四阿も防災テントに

市民が参加する防災イベント

ママの意見を取り入れた「ちびっこ広場」

市街地との一体デザイン→子どもとママで賑わう日常

事例【茨木市岩倉町地区】大阪府

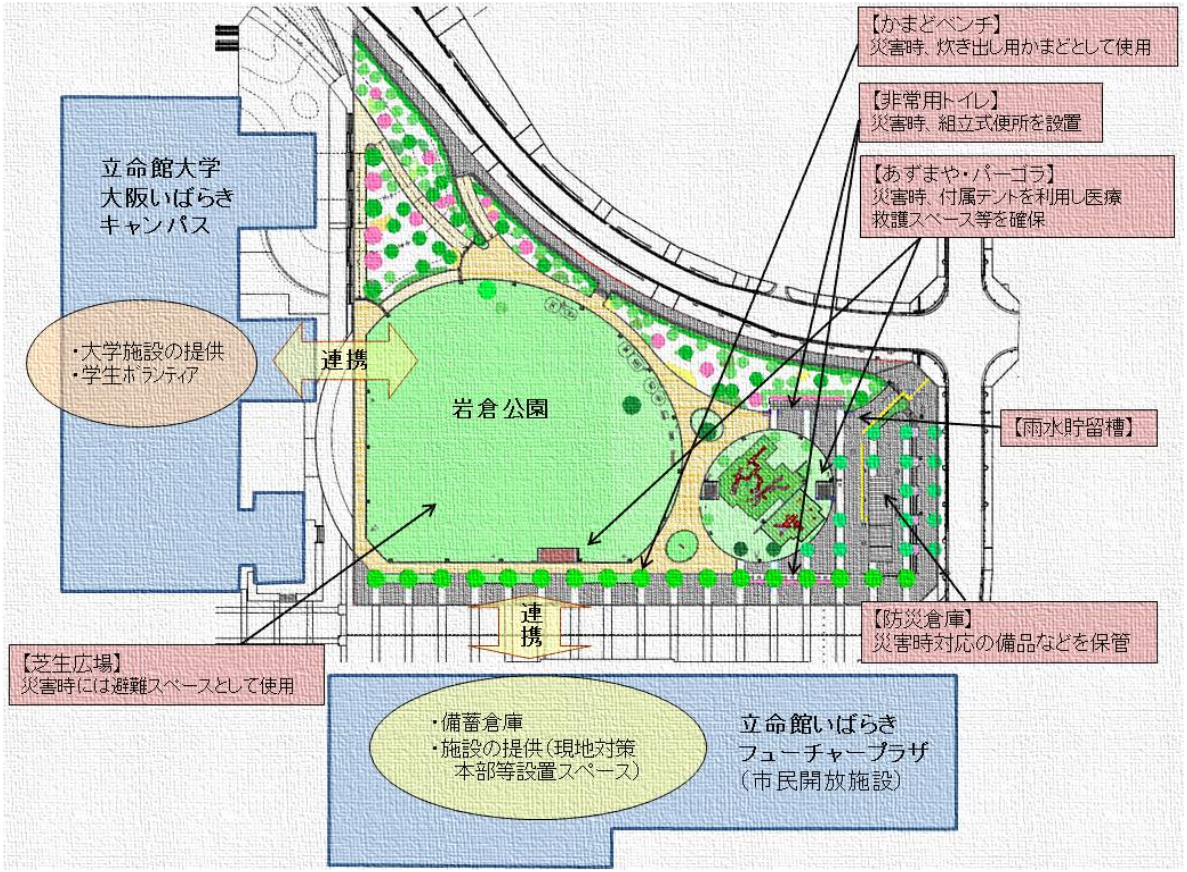
街に、ルネッサンス
UR都市機構

大規模工場跡地の土地利用転換を契機に、茨木市・UR・立命館大学が連携し、防災公園、市民開放施設、大学新キャンパスを一体的に整備。子供や学生など多くの市民が交流し賑わう空間を創出。

市民が訪れやすく親しみやすい空間形成に向けて、景観面だけでなく、図書館・ホール・レストラン等を併設する市民開放施設を整備する等機能面でも工夫

事例【茨木市岩倉町地区】大阪府

災害時は、市民開放施設・大学と連携して、防災拠点（一時避難地）として機能を発揮。



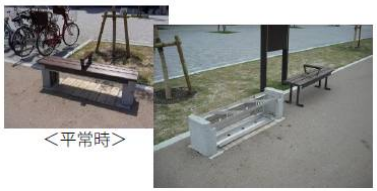
パーゴラ

災害時にパーゴラにテントを張って救護施設などに利用します。（3m×9m, 1基）

雨水貯留槽

公園内に降った雨水を貯留し、平常時は樹木の散水用として、災害時は消火用水として利用します。（樹脂製 100㎥）

かまどベンチ



災害時にベンチの脚部をかまどとして利用します。（L＝1.4m, 5基）

非常用トイレ

平常時は駐輪場ですが、災害時には災害用トイレとして利用します。
（北側駐輪場部分12穴, 南側駐輪場部分 9穴）

あずまや

災害時に四阿にテントを張って緊急の避難場所として利用します。（3m×3m, 2基）

ハイブリット照明

風力と太陽光の自然エネルギーを利用したハイブリッド照明は、環境にやさしく、停電時にも灯りを提供します。（H=7m, 3基）

市民と協働でつくり育てる公園～計画から維持管理まで市民が参画～

事例【神戸市浜辺通地区】兵庫県（みなとのもり公園）

計画策定

市民ワークショップ（6回）、基本設計懇話会（3回）、
公園検討会（44回）

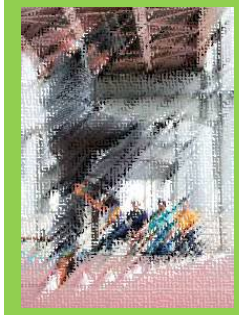
整備

苗木植樹、
芝生貼り等

維持管理

草花育て・植え付け、清掃・草刈、炊き出し訓練、看板づくり、イベント開催等、
「公園運営会議」を中心とした市民団体が自主的に実施

計画段階で生まれた
ニュースポーツ広場には全国から若者が集い活気にあふれる。



スラロームも手づくり、
活動が終わると
自主的にゴミ拾いや草刈りを行う

事例【神戸市浜辺通地区】兵庫県（みなとのもり公園）

市役所等の防災中枢拠点と一体となる救援活動の後方支援拠点として、広域避難地として機能を発揮。

記憶・歴史の継承

1995.1.17
地震時刻

「しあわせ運べるように」歌碑

JR貨物神戸港駅の
レール跡

■ 災害用仮設トイレ

汚水管直結型の
仮設トイレ

62基

■ 備蓄倉庫

備蓄品目（産業振興局所管）
2,000人 一日分

毛布	2,000枚
サバイバルシート	2,000枚
飲料水	2,016本
アルファ化米	1,000食
クラッカー	1,050食
缶詰	2,016本
粉ミルク	40本

■ ハイブリッド照明灯

風力と太陽光の
ハイブリッド発電
LED20W照明灯

災害時に避難する
市民の目印となる
5基

■ 非常用自家発電装置

地下タンクに貯蔵する
軽油2000ℓにより
災害時の電気供給の
途絶時に自家発電

公園照明、非常用電源
など必要電力の3日分
を供給

■ スプリンクラー

平常は樹木灌水に
使用

災害時には隣接地
からの延焼防止と
して機能する
51基

■ 地下貯水槽

芝生広場下のタンク
200㎥を設置
ろ過した地下水と上水
を貯水

平常は樹木灌水など
使用
災害時には仮設トイレ
に用水を供給